

伝統工芸－２

「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

＊ 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■ 基本情報

ジャンル	美術・工芸（ロウケツ染め）		
対象となる学年	小学校 全学年 中学校 全学年 特別支援学校 全学年		
対象となる科目（例）	図工・美術		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	２～３回	１回の 所要時間	60～120分
実施可能人数	１回につき １～20人くらいまで		
実施団体	団体名 公益財団法人京都府中丹文化事業団 代表者名 理事長 山崎 善也 担当者名 井田 康史 講師名 松本 健宏（ロウケツ染）		
連絡先所在地等	〒623-0005 綾部市里町久田21-20 TEL / 0773-42-7705 FAX / 0773-42-7783 Email / info@chutan.or.jp		
団体、講師のプロフィール	京都精華大学テキスタイル科（ロウケツ染）卒業後、インテリアデザイナー経験を経て、ロウケツ染作家活動始める。 日展、日本新工芸展、京展へ出展。多数の受賞歴がある。 工芸にとどまらない芸術の世界を、多くの人に分かり易く歓びと感動を伝えていきたいと思い、活動している。		
実施可能な時期（期間）	・ 相談による。 ・ 寒暖の厳しくない穏やかな季節が好ましいです。 （天気の良い時に野外で伸びやかに作業を行うことが望ましい。）		

■ 実施内容

対象となる プログラム	体験
テーマ (タイトル)	「だれでも！なにをしても！素晴らしい絵ができるよ！ ロウケツ染めに挑戦しよう！」
趣旨・目標 ねらい	・ 本当の芸術的ものづくりとは何かを楽しく、体験を通して伝える。 ・ 大きな布にみんなで染めて、現代アートを体験する。 ・ 手拭いや風呂敷を使いエコノミカルな楽しみ方を考え伝える ・ 無心になってもものづくりに打ち込む大切さと、失敗のない工芸の面白さ。 ・ 10m以上の長布を張ることで仮設的芸術が楽しめる。
全体計画 (案)	< 1 回目 > ・ 講師によるパフォーマンス（大画面への下絵描・ロウケツ染制作） ・ 誰でも解る芸術論と技術説明。 < 2 回目 > ・ 手拭いまたは風呂敷制作（ロウケツ染） ＊ 染め上げた作品は、講師が持ち帰り、布の定着・脱蠟・洗い・仕上げを行う。 < 3 回目 > ・ 完成作品を合評。使い方を考える。 ＊ 学校の希望講習回数時間に応じて内容は相談いたします。
実施場所	野外（10m以上の布が張れる） 室内（体育館など広い場所を希望） 工作室（床・机が一時汚れても良い処）
講師等	講師 1 人 講師名 松本健宏 スタッフ 1 人または数名 スタッフ名 松本素冬子
備考	必要な備品、設備等 ・ ロウケツ染は、高温の蠟を扱いますが、危険が伴いますので、他の安全な防染材での使用も可能です。 ・ 延長コード、新聞、テーブル、椅子 など ・ 布を張るための柱の有無。 （屋外では太い樹木など必要） ・ 室内では換気の良い部屋。